



従来のコンプライアンスに対するバケット リクエストのサポート終了

StorageGRID software

NetApp
December 03, 2025

目次

従来のコンプライアンスに対するバケット リクエストのサポート終了.....	1
従来のコンプライアンスに対するバケット リクエストのサポート終了	1
コンプライアンス機能は廃止されました	1
非推奨: コンプライアンスのための CreateBucket リクエストの変更	1
非推奨: GET バケットコンプライアンスリクエスト.....	2
リクエスト例	2
応答例	3
エラー応答.....	3
非推奨: PUT バケットコンプライアンスリクエスト.....	4
リクエスト例	4
コンプライアンス設定の一貫性.....	5
エラー応答.....	6

従来のコンプライアンスに対するバケット リクエストのサポート終了

従来のコンプライアンスに対するバケット リクエストのサポート終了

従来のコンプライアンス機能を使用して作成されたバケットを管理するには、StorageGRID S3 REST API を使用する必要がある場合があります。

コンプライアンス機能は廃止されました

以前のStorageGRIDバージョンで利用可能だったStorageGRIDコンプライアンス機能は廃止され、S3 オブジェクト ロックに置き換えられました。

以前にグローバルコンプライアンス設定を有効にしていた場合、StorageGRID 11.6 ではグローバル S3 オブジェクトロック設定が有効になっています。コンプライアンスを有効にした新しいバケットを作成することはできなくなりました。ただし、必要に応じて、StorageGRID S3 REST API を使用して、既存のレガシー コンプライアンス バケットを管理することができます。

- ["S3 REST API を使用して S3 オブジェクトロックを設定する"](#)
- ["ILMでオブジェクトを管理する"](#)
- ["NetAppレッジベース: StorageGRID 11.5 でレガシー準拠バケットを管理する方法"](#)

非推奨のコンプライアンス リクエスト:

- ["非推奨 - コンプライアンスのためのPUT Bucketリクエストの変更"](#)

SGCompliance XML 要素は非推奨です。以前は、PUT Bucket リクエストのオプションのXML リクエスト本文にこのStorageGRIDカスタム要素を含めることで、準拠バケットを作成できました。

- ["非推奨 - GET バケットコンプライアンス"](#)

GET Bucket コンプライアンス リクエストは非推奨です。ただし、このリクエストを引き続き使用して、既存のレガシー コンプライアンス バケットに現在有効なコンプライアンス設定を確認することはできません。

- ["非推奨 - PUT バケットのコンプライアンス"](#)

PUT Bucket コンプライアンス リクエストは非推奨です。ただし、このリクエストを引き続き使用して、既存のレガシー コンプライアンス バケットのコンプライアンス設定を変更することはできます。たとえば、既存のバケットを法的保留状態にしたり、保持期間を延長したりできます。

非推奨: コンプライアンスのための **CreateBucket** リクエストの変更

SGCompliance XML 要素は非推奨です。以前は、このStorageGRIDカスタム要素を

CreateBucket リクエストのオプションの XML リクエスト本文に含めることで、準拠バケットを作成できました。



以前のStorageGRIDバージョンで利用可能だったStorageGRIDコンプライアンス機能は廃止され、S3 オブジェクト ロックに置き換えられました。詳細については、以下を参照してください。

- ["S3 REST API を使用して S3 オブジェクトロックを設定する"](#)
- ["NetAppナレッジベース: StorageGRID 11.5 でレガシー準拠バケットを管理する方法"](#)

コンプライアンスを有効にした新しいバケットを作成することはできなくなりました。コンプライアンスのための CreateBucket リクエストの変更を使用して新しいコンプライアンス バケットを作成しようとすると、次のエラー メッセージが返されます。

```
The Compliance feature is deprecated.  
Contact your StorageGRID administrator if you need to create new Compliant  
buckets.
```

非推奨: GET バケットコンプライアンスリクエスト

GET Bucket コンプライアンス リクエストは非推奨です。ただし、このリクエストを引き続き使用して、既存のレガシー コンプライアンス バケットに現在有効なコンプライアンス設定を確認することはできます。



以前のStorageGRIDバージョンで利用可能だったStorageGRIDコンプライアンス機能は廃止され、S3 オブジェクト ロックに置き換えられました。詳細については、以下を参照してください。

- ["S3 REST API を使用して S3 オブジェクトロックを設定する"](#)
- ["NetAppナレッジベース: StorageGRID 11.5 でレガシー準拠バケットを管理する方法"](#)

この操作を完了するには、s3:GetBucketCompliance 権限を持っているか、アカウント ルートである必要があります。

リクエスト例

この例のリクエストでは、バケットのコンプライアンス設定を確認できます。 mybucket 。

```
GET /mybucket/?x-ntap-sg-compliance HTTP/1.1  
Date: date  
Authorization: authorization string  
Host: host
```

応答例

レスポンスXMLでは、`<SGCompliance>`バケットに有効なコンプライアンス設定を一覧表示します。このサンプル応答は、オブジェクトがグリッドに取り込まれた時点から 1 年間 (525,600 分) 各オブジェクトが保持されるバケットのコンプライアンス設定を示しています。現在、このバケットには法的保留はありません。各オブジェクトは 1 年後に自動的に削除されます。

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: date
Connection: connection
Server: StorageGRID/11.1.0
x-amz-request-id: request ID
Content-Length: length
Content-Type: application/xml

<SGCompliance>
  <RetentionPeriodMinutes>525600</RetentionPeriodMinutes>
  <LegalHold>>false</LegalHold>
  <AutoDelete>>true</AutoDelete>
</SGCompliance>
```

Name	説明
保持期間 (分)	このバケットに追加されたオブジェクトの保持期間の長さ (分)。保持期間は、オブジェクトがグリッドに取り込まれた時点で開始されます。
法的保留	<ul style="list-style-type: none">• True: このバケットは現在、法的保留中です。このバケット内のオブジェクトは、保持期間が終了していても、法的保留が解除されるまで削除できません。• False: このバケットは現在、法的保留の対象ではありません。このバケット内のオブジェクトは、保持期間が終了すると削除できます。
自動削除	<ul style="list-style-type: none">• True: バケットが法的保留中でない限り、このバケット内のオブジェクトは、保持期間が終了すると自動的に削除されます。• False: 保持期間が終了しても、このバケット内のオブジェクトは自動的に削除されません。これらのオブジェクトを削除する必要がある場合は、手動で削除する必要があります。

エラー応答

バケットが準備して作成されていない場合、レスポンスのHTTPステータスコードは次のようになります。
404 Not Found S3エラーコードは XNoSuchBucketCompliance。

非推奨: PUT バケットコンプライアンスリクエスト

PUT Bucket コンプライアンス リクエストは非推奨です。ただし、このリクエストを引き続き使用して、既存のレガシー コンプライアンス バケットのコンプライアンス設定を変更することはできます。たとえば、既存のバケットを法的保留状態にしたり、保持期間を延長したりできます。



以前のStorageGRIDバージョンで利用可能だったStorageGRIDコンプライアンス機能は廃止され、S3 オブジェクト ロックに置き換えられました。詳細については、以下を参照してください。

- ["S3 REST API を使用して S3 オブジェクトロックを設定する"](#)
- ["NetAppナレッジベース: StorageGRID 11.5 でレガシー準拠バケットを管理する方法"](#)

この操作を完了するには、s3:PutBucketCompliance 権限を持っているか、アカウント ルートである必要があります。

PUT Bucket コンプライアンス リクエストを発行するときは、コンプライアンス設定のすべてのフィールドに値を指定する必要があります。

リクエスト例

この例のリクエストは、バケットのコンプライアンス設定を変更します。mybucket。この例では、`mybucket` オブジェクトがグリッドに取り込まれた時点から、1 年間ではなく 2 年間 (1,051,200 分) 保持されるようになりました。このバケットには法的拘束力はありません。各オブジェクトは 2 年後に自動的に削除されます。

```
PUT /mybucket/?x-ntap-sg-compliance HTTP/1.1
Date: date
Authorization: authorization name
Host: host
Content-Length: 152

<SGCompliance>
  <RetentionPeriodMinutes>1051200</RetentionPeriodMinutes>
  <LegalHold>>false</LegalHold>
  <AutoDelete>>true</AutoDelete>
</SGCompliance>
```

Name	説明
保持期間（分）	<p>このバケットに追加されたオブジェクトの保持期間の長さ（分）。保持期間は、オブジェクトがグリッドに取り込まれた時点で開始されます。</p> <p>重要 RetentionPeriodMinutes に新しい値を指定する場合は、バケットの現在の保持期間以上の値を指定する必要があります。バケットの保持期間が設定されると、その値を減らすことはできず、増やすことしかできません。</p>
法的保留	<ul style="list-style-type: none"> • True: このバケットは現在、法的保留中です。このバケット内のオブジェクトは、保持期間が終了していても、法的保留が解除されるまで削除できません。 • False: このバケットは現在、法的保留の対象ではありません。このバケット内のオブジェクトは、保持期間が終了すると削除できます。
自動削除	<ul style="list-style-type: none"> • True: バケットが法的保留中でない限り、このバケット内のオブジェクトは、保持期間が終了すると自動的に削除されます。 • False: 保持期間が終了しても、このバケット内のオブジェクトは自動的に削除されません。これらのオブジェクトを削除する必要がある場合は、手動で削除する必要があります。

コンプライアンス設定の一貫性

PUT Bucket コンプライアンス リクエストを使用して S3 バケットのコンプライアンス設定を更新すると、StorageGRID はグリッド全体でバケットのメタデータを更新しようとします。デフォルトでは、StorageGRIDは強力なグローバル 整合性を使用して、バケット メタデータを含むすべてのデータ センター サイトとすべてのストレージ ノードで、変更されたコンプライアンス設定に対する書き込み後の読み取り整合性が確保されることを保証します。

データセンターサイトまたはサイト内の複数のストレージノードが利用できないためにStorageGRIDが*強力なグローバル*一貫性を実現できない場合、応答のHTTPステータスコードは次のようになります。 503 Service Unavailable.

この応答を受け取った場合は、グリッド管理者に連絡して、必要なストレージ サービスができるだけ早く利用できるようにする必要があります。グリッド管理者が各サイトで十分なストレージ ノードを用意できない場合、テクニカル サポートは、*強力なサイト*の一貫性を強制して失敗した要求を再試行するように指示することがあります。



テクニカル サポートから指示された場合、またはこのレベルを使用した場合の潜在的な結果を理解していない限り、PUT バケット コンプライアンスに対して **Strong-site** の一貫性を強制しないでください。

一貫性が **Strong-site** に低下すると、StorageGRID は、更新されたコンプライアンス設定がサイト内のクライアント要求に対してのみ書き込み後の読み取り一貫性を持つことを保証します。つまり、すべてのサイトとストレージ ノードが利用可能になるまで、StorageGRIDシステムではこのバケットに対して一時的に複数の矛盾した設定が存在する可能性があります。設定に一貫性がないと、予期しない望ましくない動作が発生する可能性があります。たとえば、バケットをリーガルホールドの対象とし、一貫性を低く強制した場合、一部のデータセンター サイトではバケットの以前のコンプライアンス設定（つまり、リーガルホールドの解除）が引

き続き有効になる可能性があります。その結果、法的保留中であると思われるオブジェクトは、保持期間の期限が切れると、ユーザーまたは AutoDelete (有効になっている場合) によって削除される可能性があります。

*Strong-site*一貫性の使用を強制するには、PUT Bucketコンプライアンスリクエストを再発行し、Consistency-Control HTTP リクエスト ヘッダーは次のとおりです。

```
PUT /mybucket/?x-ntap-sg-compliance HTTP/1.1
Consistency-Control: strong-site
```

エラー応答

- バケットが準備して作成されていない場合、レスポンスのHTTPステータスコードは次のようになります。404 Not Found。
- もし RetentionPeriodMinutes ` リクエスト内の値がバケットの現在の保存期間より短い場合、HTTPステータスコードは `400 Bad Request。

関連情報

["非推奨: コンプライアンスのための PUT Bucket リクエストの変更"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。